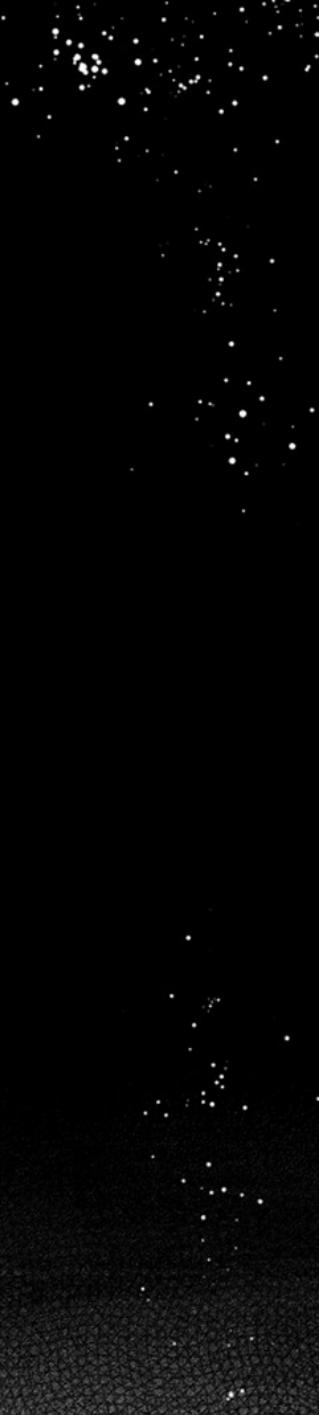


瑠璃色の夜





王様リンの夢のため、力になれるようにとハルカもできることを頑張ります。
色々な場所へ赴き、水脈と各国の情勢を報告してくれます。
そんなハルカを心配するリンですが、どうにもハルカの方が一枚上手で
細かい心の部分ではハルカの方が敏感なようです。

そんなリンに、今日はハルカから手土産があるのでした。

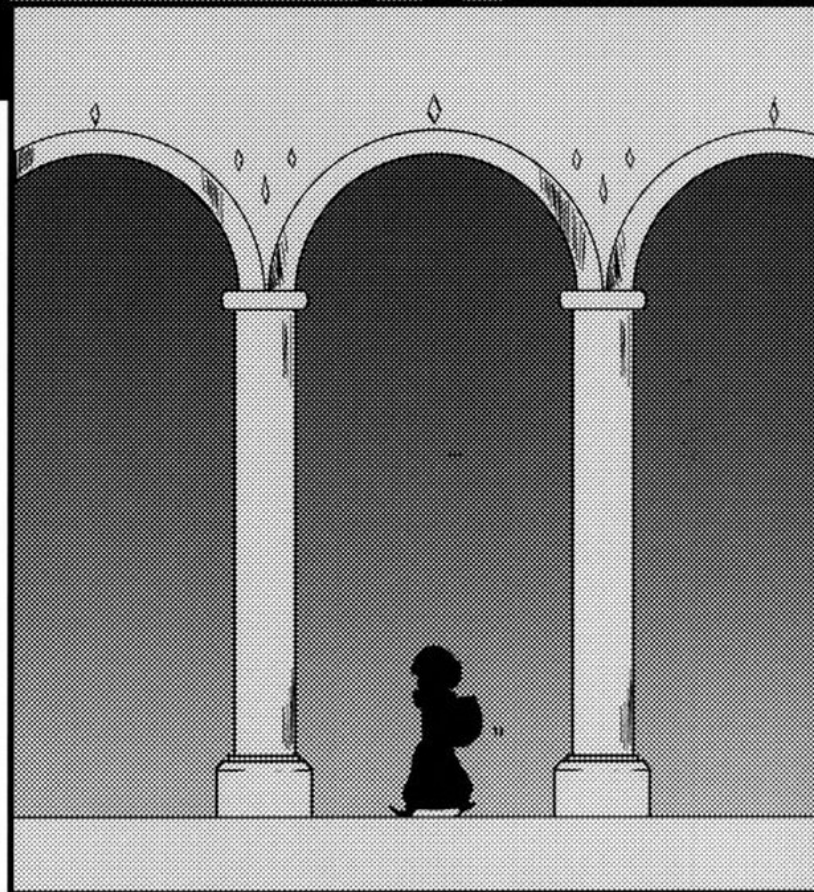
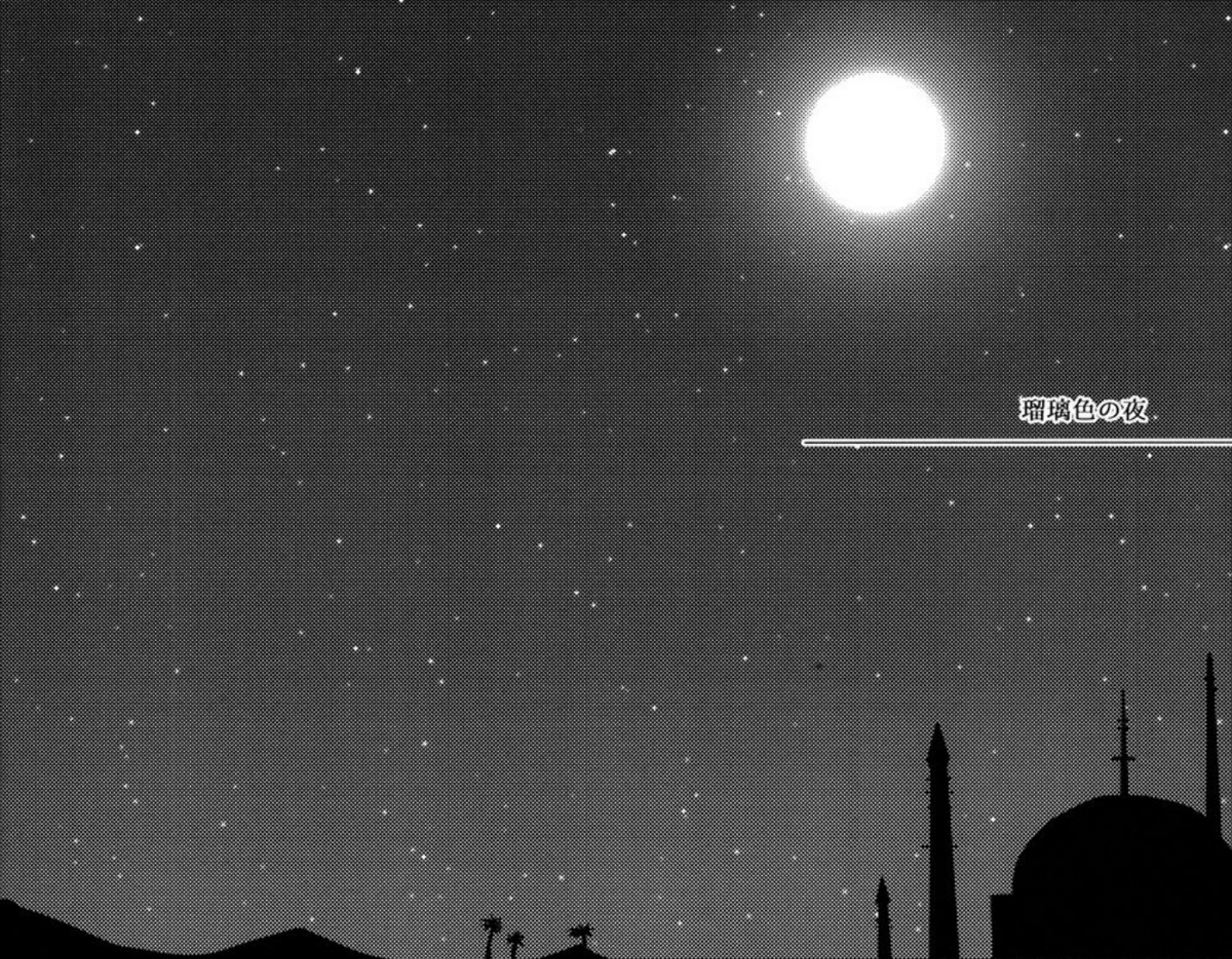
ラピスラズリ

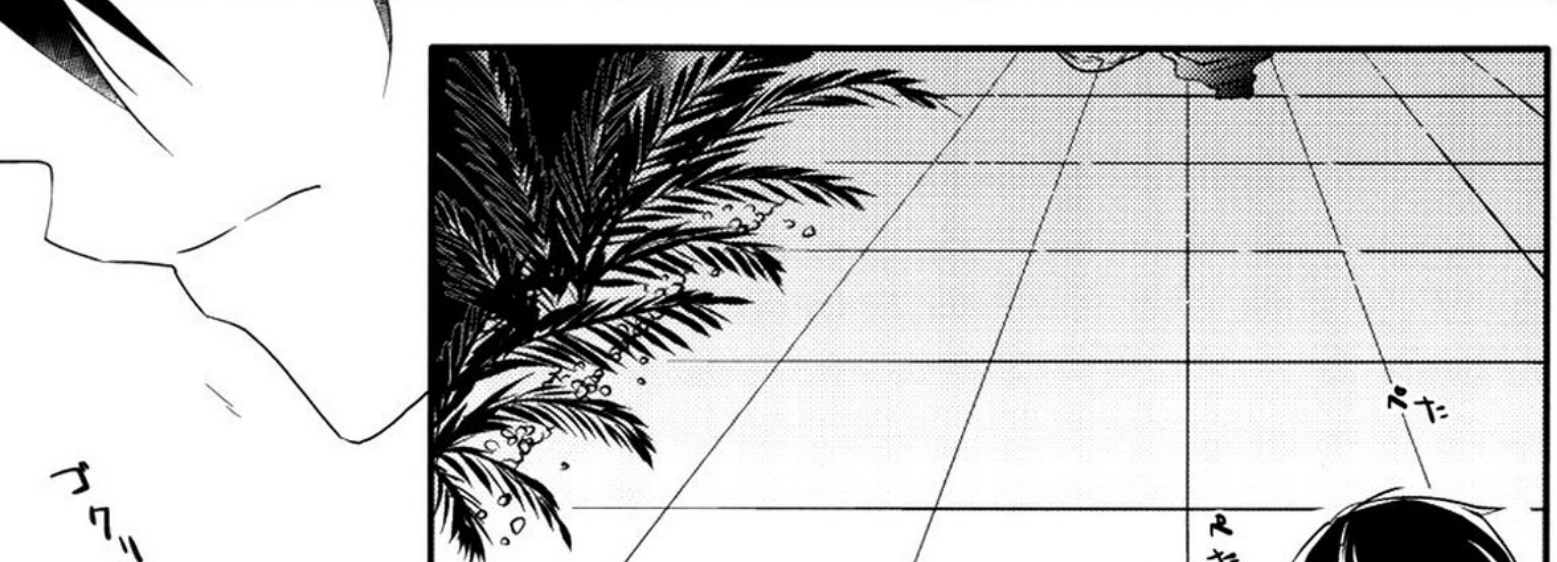
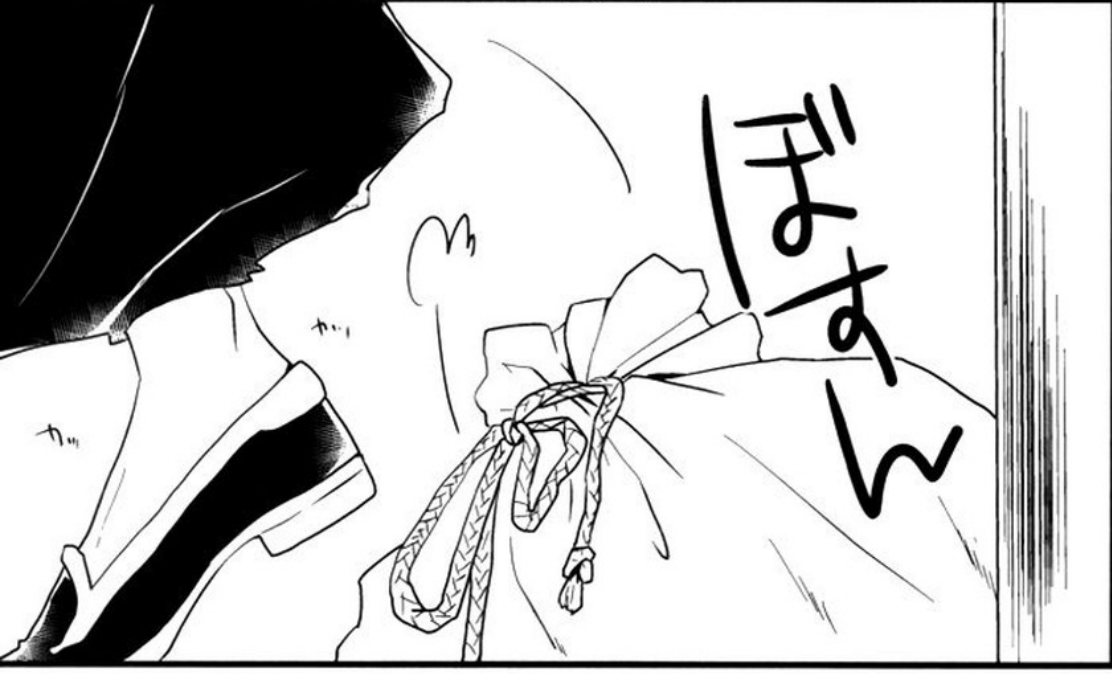
深い藍あおの
美しい石

極稀に
採取できる
奇跡の石

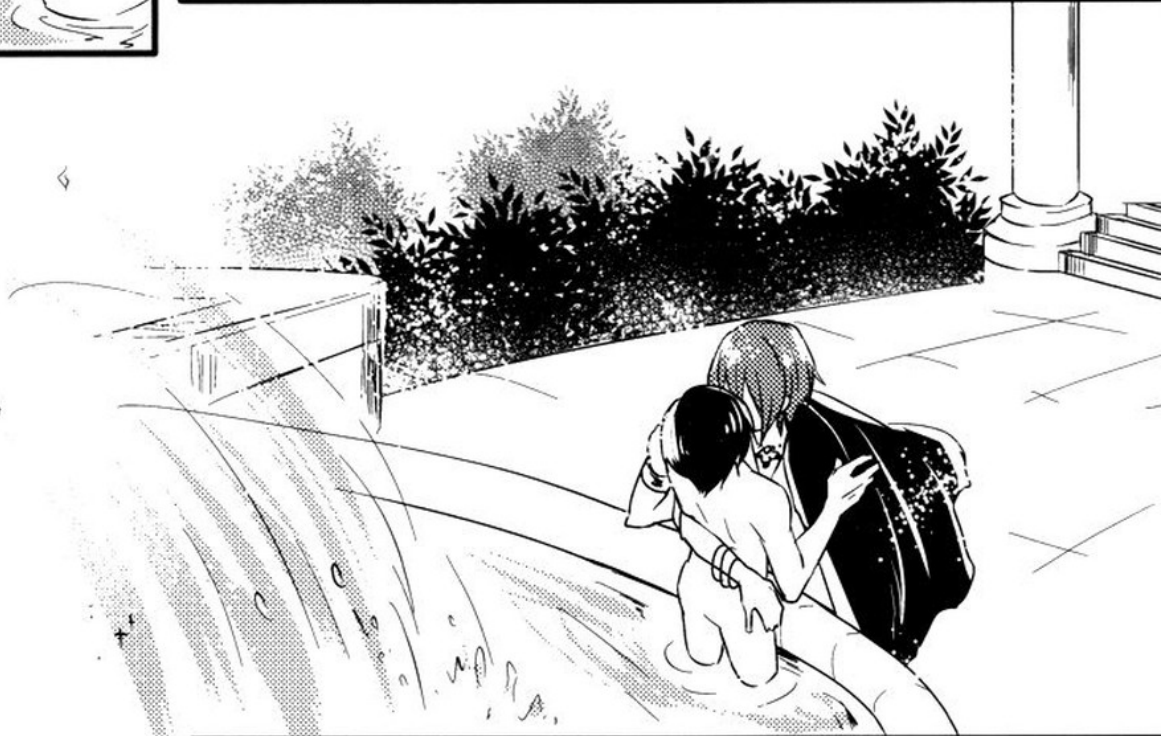
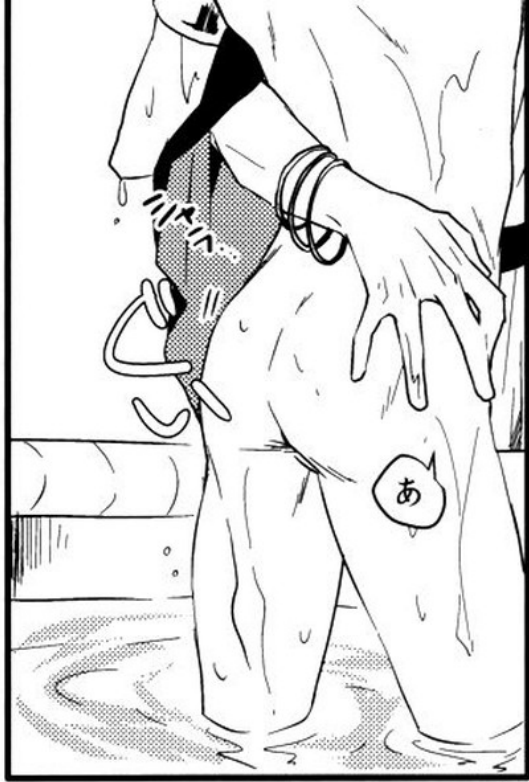
その色は
あの瞳に
よく似ている

瑠璃色の夜





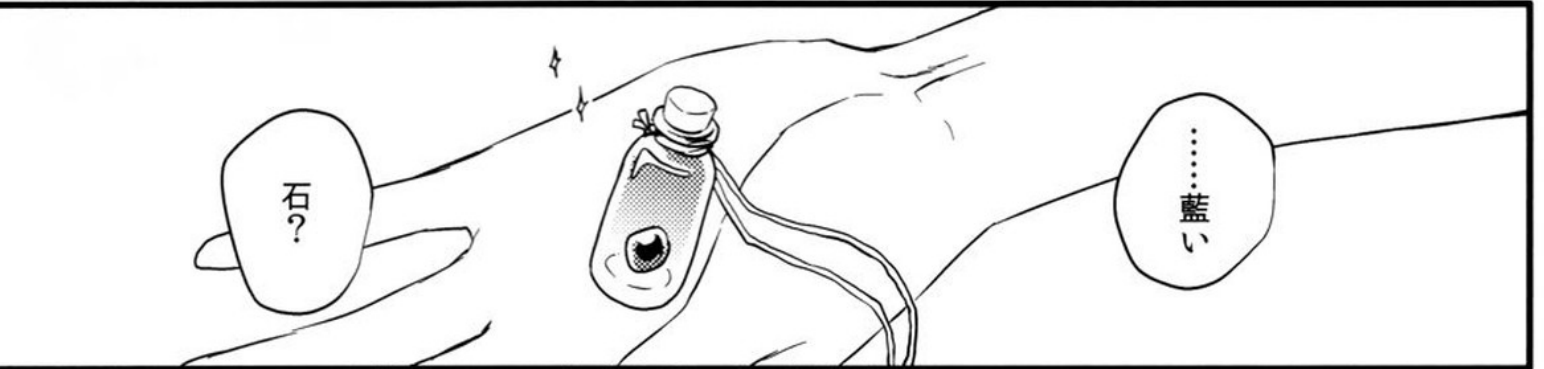






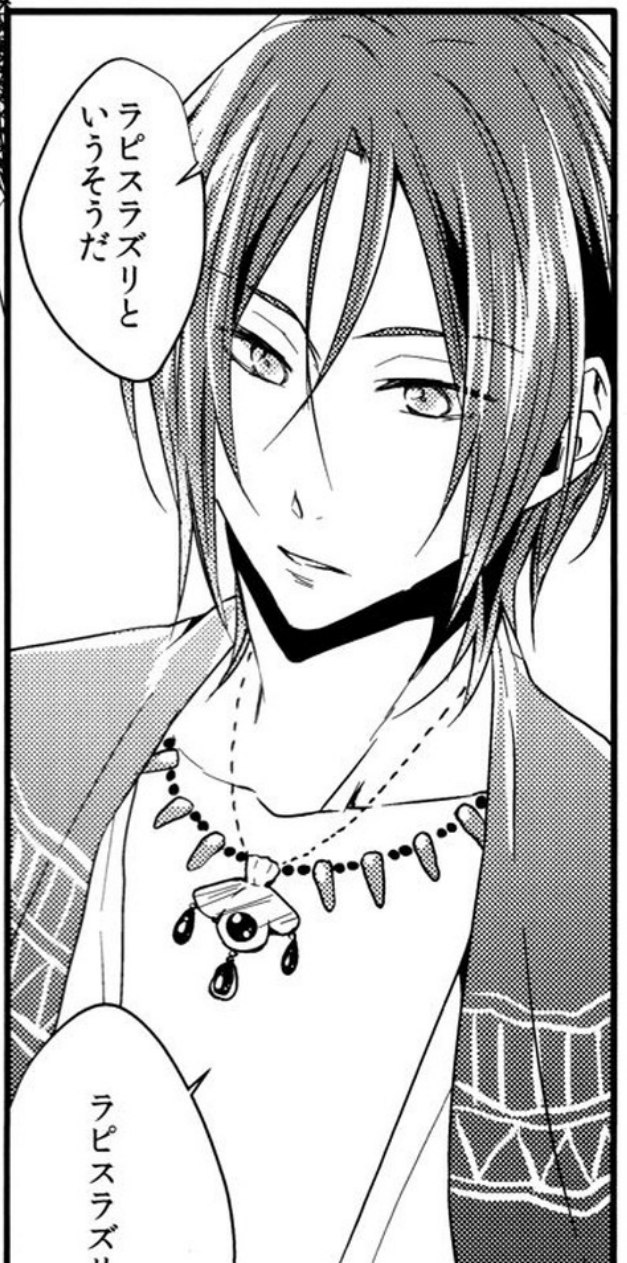
綺麗なものを見つけた

リンにやる



石?

... 藍い



ラピスラズリと いうそうだ



バク

ラピスラズリ



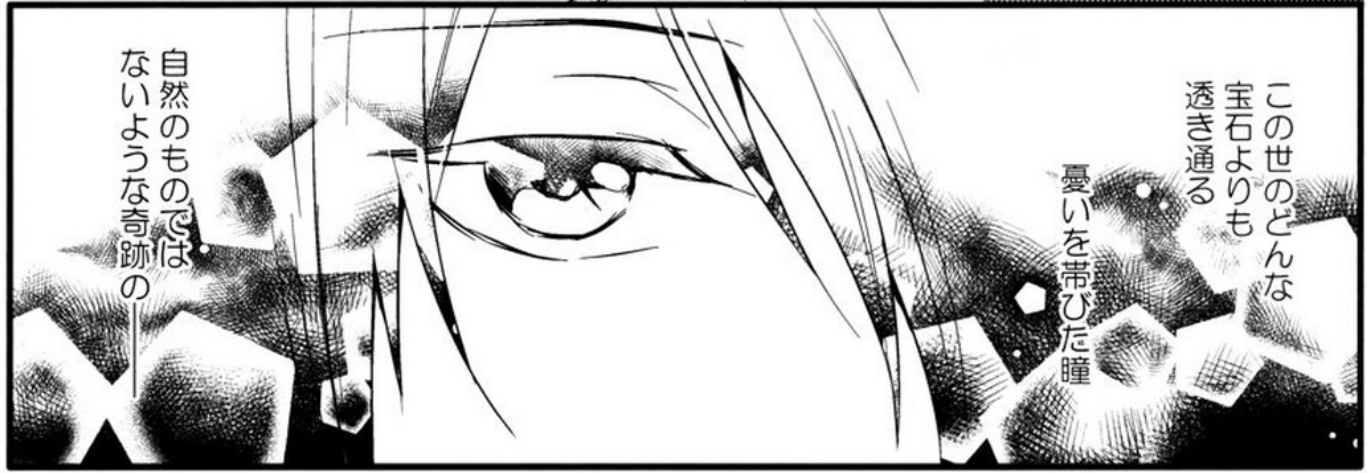
藍は高貴な色だ

キラキラ
してる

自然に作るものが
難しい

だからこそハルカに
ふさわしいと思う

?



この世のどんな
宝石よりも
透き通る

憂いを帯びた瞳

自然のものでは
ないような奇跡の



夜の闇にも
似てる



お前の目に
そっくりだな



リン……？

は、

……

珍しい石
なんだそうだ

満月の夜にしか現れない
オアシスで見つかる

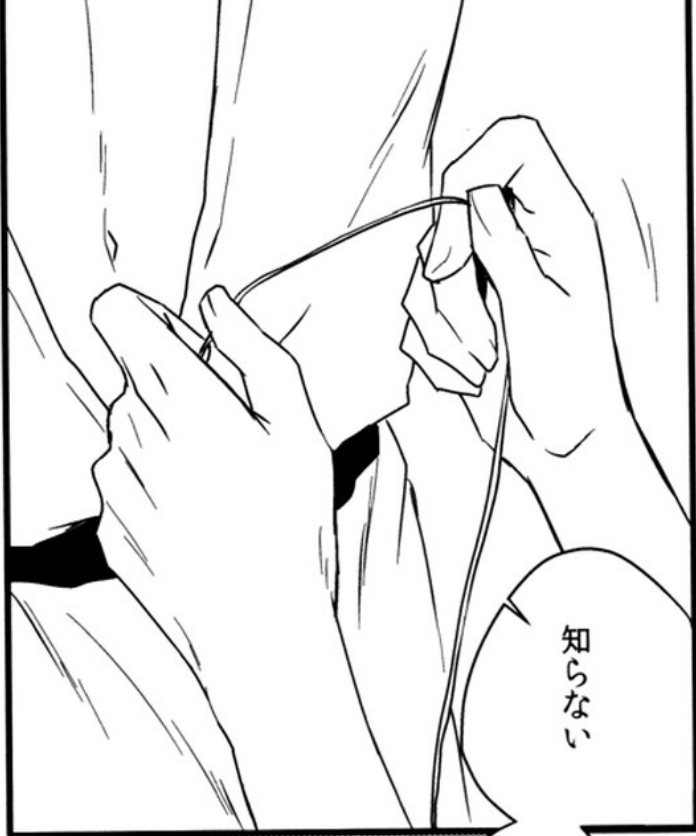
濃紺の夜空を
澄んだ水に映し

翌朝には
干からびてしまう
オアシスの真ん中に

たった一粒

奇跡の
石だから

お守りになる



知らない



おい
その話
本当なの
かよ

と
おっさん
が
言
っ
て
た



ただ

お前は
そういうの
好きだ
と思
っ
て

ちよ

しよ



お守り

だから

お







どうすれば
お前は
ここに留まって
くれるんだよ……



また終わりの無い
話をするのか

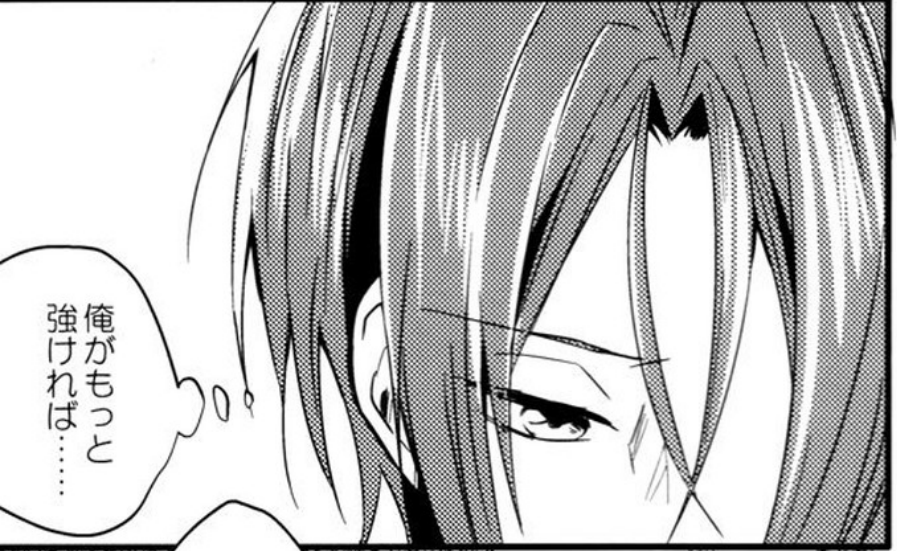
だってよ……



お前だって
……



傷だらけだ



俺がもっと
強ければ……



リン
なに考えて



お前があんまり
無茶するもんだから

ガム



……なんでもねーよ



帰ってくる度に
気が気じゃねえ
ってたけだ



ガム

仕方のない
話だろ



せーの
せーの
せーの

お前はここの
でかくした
ないのか



バカ言うな

偵察も兼ねて
るんだから
仕方がないだろ

言っ
たね

あまり危険
ことはする



それは

なら必要な
ことだろう

……



俺に

俺にもつと
力があれば

それは違う
リン

おれは
自分の意思で
ここにいて

お前の夢は
おれの夢だ

ここまで大きな国
お前が支えてるん

力が無い訳じゃ
ないだろう



ほっ

こうなるのは
おれたちの望みが
高いからだ

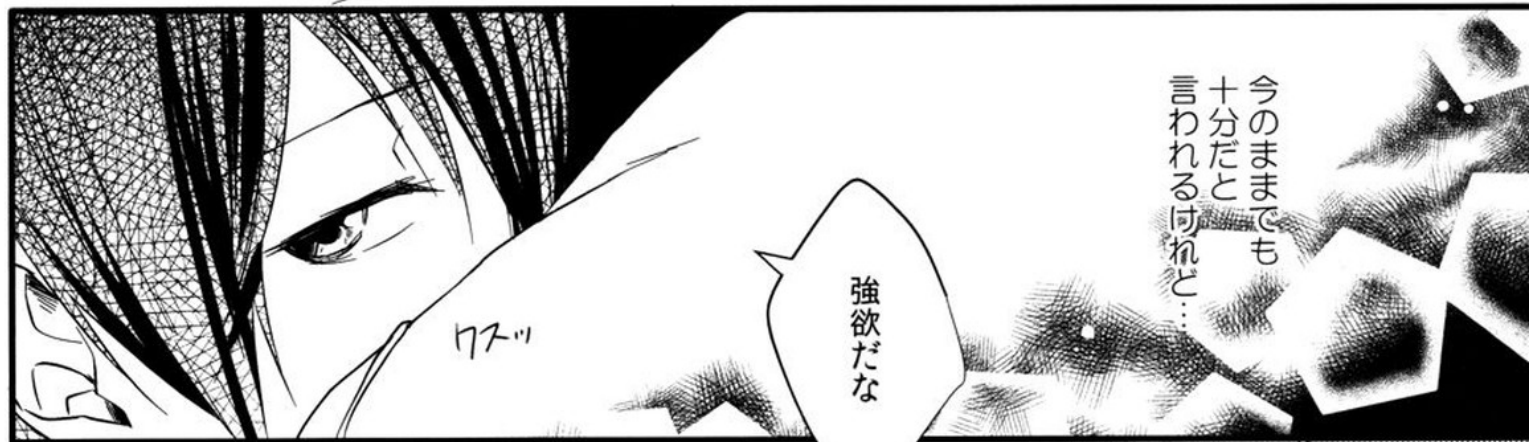
わかって
るんだらう？

わかっている



そりや
そうだらうけど

もっと豊かに
もっと民が安心
できるように



今のままでも
十分だと
言われるけれど...

強欲だな

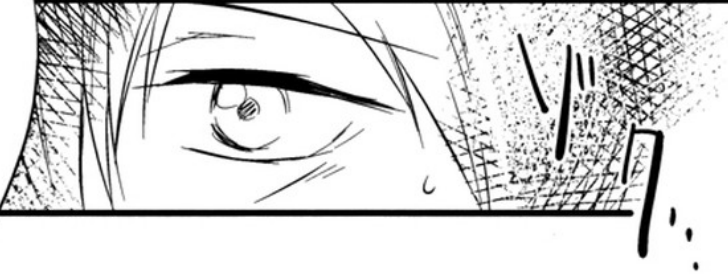
……ああそうだ



俺は強欲な
リン様だからな

お前をここに
留めておく術も

同時に考えなきや
ならねえ



はっ

あ

ん

ブッ

ブッ



あ

ああ...









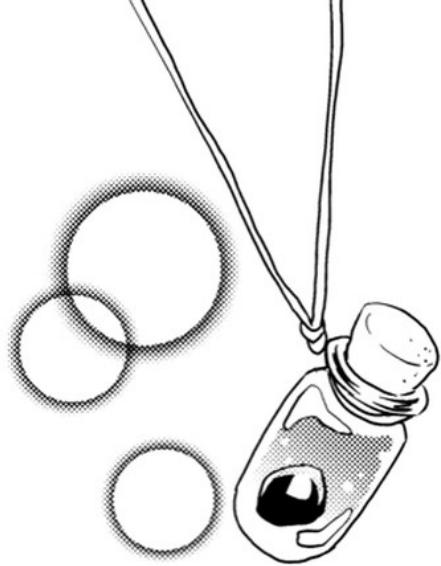


ハルの
荷物がない





もう一回ハル
好きにやらせて……



自分の代わり
だなんて

アイツは
知ってか知らずか

この石は
ハルカの
瞳のようで

何か上手く
いかないときでも

不思議と
冷静になれた


我ながら
単純だ

今日も願おう

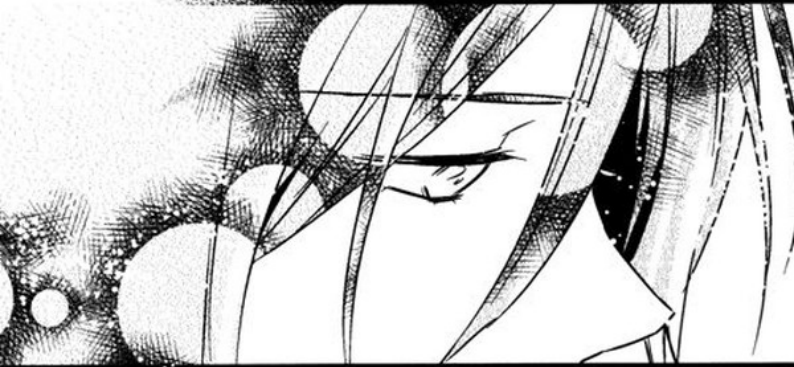
ハル……



キズ



無事に
戻るように



無事に帰って
くれるように



この石に祈りを込めて

聖母遙さま……;;

したたかで海のように広い心を持つ遙と、
炎のように熱く情熱的な男凛、ってくそカッコいいじゃないですかー(自己満)
サークル名でもあるラピスラズリに勝手に設定をつけてのお話でした。
本編がどう転ぶのかわからないので相変わらずのアラブです。

この本が出た数日後には最終回でしょ。しぬ^^
遙に優しい世界でありますように。

葵トモミ

瑠璃色の夜

2014/9/21

LAPISLAZULI*** / 葵トモミ

印刷: 金沢印刷様

<http://lapislazulix.web.fc2.com/>
momi91siniy@gmail.com

※未成年の閲覧、無断転載、オークションへの出品はしないでください。
※インターネットへ上への転載もご遠慮ください。
※ご不要になりました際は、一般の方の目に触れない形で処分してください。

Free! Unofficial Fanbook Rin Haruka #8

UNOFFICIAL

2014.9.21